

海神と霊性

あきみちともや
秋道智彌〔著〕

（国立民族学博物館名誉教授）

四六判・上製カバー・頁・本体二、八〇〇円＋税

2026 年 1 月刊行



われわれが海に抱く畏怖の念はどこから来るのか？ 海神信仰を軸に、日本、東アジア、オセアニアの神話・思想・民俗等を横断的に考察。漂着物、船霊、媽祖、龍宮など多様な素材を読み解き、人類の精神史を海から構築する。

【目次】

はじめに——海神と霊性を問う

1 人類の思想史における海神と霊性

2 SDGs が看過した問題

3 海民と海人の系譜論

4 文明の波動史観

第1章 海の信仰

1 日本神話の神がみと海

2 航海安全の神——宗像

三女神・綿津見神・住吉神

3 観音信仰と海

4 恵比須神と民俗

第2章 漂着物と海神

1 漂着物と異界からの

メッセージ

2 椰子の実と「海上の道」

3 漂着クジラと海の恩

恵・災禍

4 漂着物と神

5 江戸後期の来訪神と吉

兆

6 漂着モデルと海神

第3章 海と占い

1 先史・古代の占い

2 古代の船霊信仰と船

第4章 船霊・オナリ・媽

祖

1 船霊信仰の民俗

2 船起こしと起舟

3 オナリ神と琉球列島

4 媽祖信仰

さいごに——持続する海神

信仰

第5章 海神の図像学

1 神がみの形象化モデル

2 オセアニアの海神と形

象

3 龍信仰と龍神の図像

4 古代ギリシャと古代イ

ンドの海神

第6章 葬制と海

1 葬制研究の視野

2 洞穴（窟）葬の展開

3 懸崖葬と積石塚

4 船棺葬・船葬墓・ストー

ンシップ（石船）

5 水葬と船（棺）葬

6 葬制の外延——死穢と災

因

第7章 もがり（殯）と境

界

1 もがりと古代

2 東アジアの殯制度とそ

の歴史の変容

第8章 船と神

1 先史・古代の船

2 船が運ぶ死者・神がみ

3 『記紀』にみる船

4 『万葉集』と船

第9章 海と他界

1 他界観と歴史・民俗

2 他界観の展開

3 他界観の歴史の変容

4 生と死のはざま論

5 海上他界の歴史民俗

6 海上他界と来訪神

7 海上他界と龍宮

第10章 おわりに

1 海の神と霊性論の今後

謝 辞

文献一覧／索引

【著者略歴】

1946 年京都府生まれ。京都大学理学部動物学科卒業、東京大学大学院理学系研究科（人類学専攻）博士後期課程単位修得満期退学。国立民族学博物館教授、総合研究大学院大学併任教授、総合地球環境学研究所教授を経て、現在、国立民族学博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、総合地球環境学研究所名誉教授。また、山梨県立富士山世界遺産センター所長を務める。理学博士。専門は生態人類学、海洋民族学、民族生物学。近年の主な著書・編著に、『魚と人の文明論』（臨川書店、2017 年）、『交錯する世界 自然と文化の再構築—フィリップ・デスコラとの対話』（編著、京都大学学術出版会、2018 年）、『たたきの人類史』（玉川大学出版部、2019 年）、『絶滅危惧種を喰らう』（共編著、勉誠出版、2020 年）、『海と陸のはざま—アジア・太平洋の干潟文化を探る』（共編著、勉誠社、2025 年）などがある。その他、著書・編著多数。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

人類学・民俗学

注文書

（書店名）

ご担当

様
冊

法藏館

二、八〇〇円＋税

ご住所

秋道智彌〔著〕

海神と霊性

ISBN978-4-8318-5745-3 C1039

お名前

お電話